

東日本旅客鉄道株式会社長野支社と国立大学法人信州大学との
連携事業として観光振興・人材育成の授業を開講します
～10/11（火）キックオフイベント（JR 東日本との座談会 & R3 年度提案事業体験会）を開催～

東日本旅客鉄道株式会社長野支社（以下、JR東日本長野支社）と国立大学法人信州大学（以下、信州大学）は、観光産業への関心を高め、観光人材の育成を目的とした連携事業として授業を開講します。JR松本駅を起点とした地域の観光づくりについて、信州大学の学生とJR東日本長野支社社員が連携してフィールドワークやディスカッション等を行い、課題解決に向けて取り組みます。

1 講座名

2022年度「課題解決実践ゼミ」

（全学横断特別教育プログラム「ローカル・イノベーター養成コース」「ストラテジー・デザイン人材養成コース」スタートアップ授業）

2 テーマ

以下のテーマをもとに、松本周辺エリアを軸にした観光分野の課題解決に向け、信州大学とJR東日本長野支社が連携して取り組みます。なお、テーマ設定にあたっては、新しい旅のスタイルやインバウンド観光客の回復を見据えたテーマ等、今年度独自の内容を取り入れています。

- ・ マイクロツーリズムの活性化、県内流動の促進～身近で見つける新たな観光素材～
デジタル観光ツアーアプリ SpotTour 等を活用した周遊促進
- ・ インバウンド回復を見越した新たなおもてなしスタイルやプロモーション手法の検討
インバウンドに選ばれる松本を目指す手法の検討
- ・ ポストコロナ期における、新しい旅のスタイルの推進
キャッシュレス決済（Suica）利用機会の拡大、ワーケーションの推進
- ・ JR 東日本長野支社 SNS（Instagram、Twitter）と連携した取り組み

3 授業の特徴

Problem/Project Based Learning : PBL 方式で実施し、リアルな現場においての問題発見、課題設定、課題解決を行いながら、知識を実践的に活用する学びを行います。知識獲得においては、観光に携わる外部講師（実務者）を招聘し、先進的な取り組みや分析視点を学びます。テーマごとにチームを形成し、授業時間外でのフィールド調査分析を行い、最終的に課題解決プログラムを報告会（2023年2月14日開催予定）にて提案します。

4 対象・定員

全学生・20名程度

5 時期

2022年度後期（2022年9月～2023年2月）

6 キックオフイベント（JR 東日本との座談会 & R3 年度提案事業体験会）

本授業の一環として受講生を対象に実施し、授業イメージや昨年度の授業成果を共有します。具体的には、JR 東日本長野支社及び松本駅の取り組み等を紹介する座談会を行うとともに、昨年度の受講生が企画したデジタル観光ツアーアプリ「SpotTour」を活用した夜の松本を巡るツアーを体験します。

日時：10月11日（火）17：30～19：00

場所：①訪日外国人旅行者専用カウンター「JR EAST Welcome Center MATSUMOTO」

②松本市内

内容：①業務紹介等の座談会

JR 東日本長野支社の観光流動施策の取り組みや、日々お客さまと接する JR 松本駅の社員による業務紹介等の座談会を実施

②昨年度受講生の企画体験

松本市街へ出て、昨年度受講生が企画した街歩き施策を体験